



**St
Luke's**
International
University



聖 路 加 国 際 大 学
海 外 研 修 ・ 留 学 プ ロ グ ラ ム

別冊オンライン研修特集
GUIDE BOOK 2021



マギル大学語学・文化研修

マギル大学について

カナダのケベック州モントリオールにある公立大学。1821年に設立され、北米で最も古い伝統と教育レベルを誇る総合大学です。学生数は4万人を超え、また、世界各国からの留学生が在籍し、全体の31%となっています。



プログラムについて

募集人数	10名程度
実施時期	夏期:8月の3週間、春期:2~4月の6週間 ※夏期・春期では一部内容が異なります
費用	約16~19万円
単位認定	海外語学演習2単位(プログラム終了後の成果報告書等により学習目標を達成したと評価された場合)

プログラムの特徴

英語クラス	週29時間の授業が行われます。参加者は語学スキル別に初級~上級のクラスに分かれ、経験豊富な講師による英語講義と、発音矯正クリニックを受けます。
スピーキング練習	個別に行われるマギル大学教員とのウェブ面談のほか、マギル大学学生パートナーとスピーキング練習を行います。自身の語学力を磨きつつ、友人を作ることが出来ます。

参加者の声

初めて、オンラインでの留学に参加しました。春休みの6週間、毎日8時から講義が始まり、覚悟はしていたものの正直大変でした。中でも、資料を入手し、グループの仲間と1時間以内にプレゼンテーションのパワポや原稿を作り、発表まで行うことは初めての経験でした。もちろん、パワポの作成やコミュニケーションの言語は全て英語で行われます。慣れない作業のなかで、不安や十分に伝えることのできないもどかしさを何度も感じましたが、発表後の達成感はとても心地よいもので自信にも繋がりました。

グローバル化の進む現在、英語でコミュニケーションを取ることはもはや当たり前になっています。しかし、私はリスニングやスピーキングを苦手としていました。これを乗り越えたいという思いでこのプログラムに申し込み、授業中に積極的に発言を行い、プライベートレッスンでも先生に話しかけることを意識しました。その結果、最終のプライベートレッスンで以前よりも、自分の伝えたいことを流暢に伝えることができるようになりました。また、週に一度五分間のライティングを行う機会がありました。毎回単語数を記録し、最終週では一番初めの週から2倍以上の量を書くことができました。さらに、プログラム中にTOEICのテストを受験したのですが、日々の勉強のおかげで90点もスコアがアップしました。これらのことから、私は自分の英語力の成長を実感することができ、更なる勉強のモチベーションにも繋がりました。プログラムが終了した現在でも、単語帳を開いたり、英語のPodcastを聞いたり、TED Talkを見たりしています。

6週間という短い間のオンライン留学でしたが、確実に自分の英語力向上につながりました。また、達成感が自信にもつながりました。英語をツールとして使用し、世界で活躍できる人になれるよう、今後も勉強を継続していきます。現在、コロナの影響で、実際に現地に向かう留学は厳しい状況が続いています。しかし、今回のプログラムでオンライン留学であっても英語力を伸ばすことができると確信しました。コロナの収束を願いながらも、今自分自身でできる英語の勉強方法を確立していきたいと思えます。貴重な経験をありがとうございました、また参加したいと考えております。(2021年学部2年・春期参加)



Study India Program

シンバイオシス国際大学について

インドのプネにある国際大学で、設立から 50 年ほどの比較的新しい大学ですが、多くの国からの留学生を受け入れ、多文化の共生を重視しています。看護学部も様々な国からの長期・短期留学生の受入・交流実績があり、世界で活躍する看護師を目指した教育を行っています。



プログラムについて

募集人数	上限なし(何名でも参加できます)
実施時期	夏期:7~8月、春期:2~3月の約2週間
費用	約3~4万円(研修プログラム費用)
単位認定	国際交流演習1単位(終了後の成果報告書等により学習目標を達成したと評価された場合)

プログラムの特徴

インドについて	世界第2位の人口を持ち、経済・文化において世界から注目を集めているインドについて学びませんか？ 大学が位置するプネは、インドで8番目に大きく緑の多い高原都市で、東のオックスフォード、インドのデトロイトとも呼ばれ、ハイレベルな大学・研究機関・企業が集まるインドの教育・研究の中心地です。いわゆるインドのイメージとは一味違います。
プログラムについて	シンバイオシス大学看護教員による、インド都市部・地方・農村地域のヘルスケアサービスやインドの伝統医療 AYUSH に関する講義、また COVID-19 に対するインド政府の戦略及びホットスポットセンターであるシンバイオシス大学病院/研究センターの活動紹介の他、インドの文化紹介、インド人学生との交流など、盛りだくさんの内容です。

参加者の声

初日からの3講義はインドの国としての概要、Pune の街についての説明、文化(食生活から若者文化、祭り文化など)や教育制度などを概的に学んだ。初回に関してはインド人講師が講義を行い、2、3回目はインド人学生が講義を行い、生の声を届けてくれた。独立性が高いことから文化も非常に多様であり、インドを語る上では一括りにまとめることが出来ないように思う。インド国内でもそれぞれの文化を尊重し、生活に反映しているようにも感じた。第4回からの講義は看護大学の教授陣による講義であった。医療制度(大都市と地方都市の比較)や昨今の感染症対策、そしてインドの伝統医療について学んだ。医療制度は細分化されており、貧困層や富裕層に分け隔てなく医療が行き届くように制度上の配慮がなされていた。感染症対策においては国を3分割し、字を解読できない人にも理解しやすいように安全地域を緑、新規感染者が少ない地域を黄色、新規感染者が多い地域を赤に分けて対策を行なっている。また、IT 先進国の対策として、アプリでソーシャルディスタンスを計測するだけでなく、感染者がどの経路を辿っていったか追跡できるシステムがアプリとして導入されており、日本でも導入していくべきではないかと感じた。伝統医療に関しては、各病院で気軽に伝統医療が受診できる体制が整っており、西洋医学との融合がなされている印象であった。最後の2回は実際に身体を動かしてヨガとポリウッドダンスを体験した。ヨガは医療として位置付けられており、精神を落ち着かせるポーズなどを習った。ポリウッドダンスは前半の講義で関わったインド人学生が丁寧に振り付けを教えてくれ、皆が笑顔で最後を迎える形となった。

以上がインドオンライン講義で学んだことである。私は受講前、インドに対して固定観念を抱き、貧富の差によって医療を受けられない人が多いのではないかと印象を抱いていた。しかし、講義を通じて医療制度の整備がなされていることやサポート制度が多岐に及んでいることを学んだ。貧困層の人々が医療を受けることができるように適切なシステムが構築されているだけでなく、患者は、AYUSH(伝統医療)や最新の医療など、さまざまな医療的選択肢が得られ、バリエーションに富んだ医療という観点においてはいわゆる先進国の日本より進んでいるようにも感じた。このプログラムで私は、最も重要なことはすべての人々の健康を得る権利が平等であることを改めて学んだように感じる。特に昨今、感染症が世界中に蔓延している中で、私たちは互いの違いを認識し、互いを尊重し、現在直面しているすべての健康問題を克服するために団結する必要があると考える。その上で、今後も今回のオンライン研修の経験を活かし、多角的な視点で物事の判断をしていきたいと思う。(2020年度学部3年生)

学外プログラム参加に対する支援制度

オンライン研修（国際）助成（学部生）

オンライン研修（国際）の参加に対する助成を行い、学部生を経済的に支援します。

支援タイプ	内容	金額	人数 (予定)
オンライン研修（国際）助成	オンライン研修（国際）の参加費の一部を補助（研修内容の審査があります。）	5万円を上限とし、申請書類を審査の上、奨学金額を決定します	20名程度

海外学術交流協定校とのオンライン交流

世界中にある協定校との繋がりを活かし、オンライン交流を行っています。
双方の教員による講義の他、双方の学生による各国の医療・看護・文化等に関する英語プレゼンテーション、また将来の夢や学生生活など幅広いトピックを自由に話し合う個別セッションを実施し、コロナ禍でも国際交流、友情の輪を広げています！



<2020年度交流実績>

タイ・マヒドン大学シリラート校、タイ・マヒドン大学ラマティボディ校、台湾・高雄医学大学





《発行元》
聖路加国際大学 看護学部
国際連携推進委員会分科会